

# 習近平主席 アメリカ訪問の失敗が招く 「尖閣諸島」の危機



尖閣諸島

何ものなければよいのだが、習近平主席が八方塞状態に陥っているらしい。  
中国の国内では暴動が続き、何とか訪米で点数を稼いで国内に威信を示したかった習近平主席がどうやら米中首脳会談で失敗したらしいのだ。

初めての国賓待遇であっただけに、さぞかしがっかりしたに違いない。  
9月22日、アメリカのシアトルに着いた習近平氏は国賓としての初訪米。  
習近平国家主席はシアトルの経済界幹部を前に演説。  
「中国経済は健全に成長している」と大見得を切って見せた。  
米中両国の大手企業トップらの揃う夕食会の演説で「中国経済は正常な状態だ。成長率は上半期7%で、成長のスピードは依然として世界の先頭を走っている」と大嘘をつき「人民元の信頼は確認された」とも大嘘をつきます。  
実際には人民元を3度も切り下げて、その後人民元を買い戻し「つじつま合わせ」をした。それがバレているのに中国人の本性なのだろう、まず嘘をつくのです。

また「株価についても自立的に戻し、自由なマーケットとして安定しています。」とまた大嘘。

株が下がりそうなので庶民株主が株を売ろうとすると強制的に株式を「売買停止」にする。テレビ画面で確認できるだけでも株式市場の3分の2が売買停止。(何が自由なマーケットなものか。)

ところが習近平主席は株価を含め「経済を安定的に成長させるため引き続き改革を進めていく」と自信を示して見せるのです。

おそらくこのくだりは中国国内用に演出しているのかもしれませんが。

習近平主席は23日、午前マイクロソフト社訪問。午後からボーイング社を訪問し、いきなり300機の飛行機を発注。その金額は4兆5000億円。あきれた「爆買い」だが「飛行機を300機」も買ってどうするつもりなのか?と心配になります。中国国内にボーイングの工場を建てるというのだから飛行機造りの技術をパクるつもりなのでしょうね。

24日午前ワシントン移動

24日午後ワシントン到着

ワシントンで習近平夫妻を出迎えたのはオバマ大統領夫妻ではなく、バイデン副大統領。



空港に到着した習近平国家主席夫妻



習近平国家主席と出迎えたバイデン副大統領

## 『習近平主席のアメリカ訪問は最初からオバマ大統領のペースでした。』

せっかく4兆5000億円の札びらを切ったのに「熱烈大歓迎」してくれたのはシアトル市長とボーイング社ばかり、4日の滞在期間の2日をシアトルで過ごし、ワシントンには1日半の滞在です。

訪問以前から熱望していたアメリカ議会での習近平主席の演説はアメリカ議会側からやんわりと拒否。

歴史に残る安倍晋三首相の『希望の同盟へ向かって』の後で、韓国の朴槿恵大統領。続いて中国の習近平主席では違和感が否めません。中国はアメリカの同盟国ではないのですから。

## 25日 米中首脳会談

今回のオバマ大統領は習近平主席に聞きたい事があり、議題をいくつか用意していました。

- ①南シナ海埋め立て基地問題
- ②中国によるサイバー攻撃問題
- ③中国の経済問題
- ④中国の人権問題

国賓待遇にしておきながらのアメリカ国防総省の「習近平主席の訪米に合わせた」タイミングでの「中国の戦闘機がアメリカの無人の電子偵察機に異常接近した件」（電子偵察機の150メートル前方を横切った）を発表。「やる気ならやってもいいんだぜ」というアメリカ国防総省の意思表示は習近平主席には応えたかもしれません。憶測ですが経済が弱くなった中国が「ナメられてはいけない」という気持ちから、絶対に反撃されない無人の電子偵察機を選んで脅しをかけたというのが巷の噂ですが本当のところはどうなのでしょう。まさか軍部の暴走ではないとおもいますが・・・。

習近平訪米と同時期にアメリカ訪問していた「ローマ法王」の出迎えにはオバマ大統領夫妻によるお出迎え。アメリカ議会での「ローマ法王」の演説は全米へと報道され、習近平主席への待遇とは大きな違いがあります。

つまり、中国の習近平氏は「ローマ法王」より格下の扱いです。

アメリカはプロテスタントの国でカソリックの信者はそれほど多いわけではありませんが、宗教を弾圧している中国共産党の習近平主席を厚遇するわけには行かないのでしょう。

中国国内で嫌がらせをされているカソリック教徒の手前、当然の報いというべきなのです。

結局、習近平国家主席も「アメリカさんは銭さえもらえれば文句はないでしょう」とゲスなアプローチをしているわけで、オバマ大統領を思いっきり馬鹿にしている、ということです。

習近平主席が粛清した令計画氏の弟、令完成氏がアメリカに亡命した時に持ち出した2700件の『機密資料』を握られた習近平主席にはオバマ大統領のイタプリは相当切実に響いてるはずです。

習近平国家主席の訪米をてぐすね引いて待っていた相当オバマ大統領に攻められてガックリきた習近平主席、プチ切れた習近平氏が国内の人気取りで、尖閣諸島に漁民を装った兵士を上陸させてくるかもしれません。



ローマ法王とオバマ大統領夫妻



米中首脳会談